「新大分スタンダード」による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導案（略案）例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ①学年・組 | ②職名・授業者氏名 | ③教科 | ④ペアでの話合い活動 | ⑤グループでの話合い活動 |
| ２年１組 | 授業者氏名または学校名 | 算数 | 有 ・ 無 | 有 ・ 無 |
| ⑥単元名(題材名) | 確率（くじの当たりやすさ） |
| ⑦本時のねらい | くじを２人で引く時の当たりやすさの違いについて、（学習活動）（育成をめざす資質・能力） |
| ⑧本時の評価規準 | 【評価の観点】〔評価方法〕 |
| ⑨展開 | めあて | 「くじ引きが公平であるか」確率を用いて検証しよう |
|  | 課　題 |  |
| 手立て | 「Ｃ:努力を要する」状況の生徒への手立て・　※自校の生徒を想定して記入 |
| 「特別な支援等の配慮を要する」生徒への手立て・　※自校の生徒を想定して記入 |
| まとめ |  |
| 振り返り |  |
| めあて「くじ引きが公平であるか」確率を用いて検証しよう。課題まとめふり返り※レイアウトや予想される子どもの出方など　目の前の生徒の実態に合わせて変えて　ください。【問題】５本のうち２本の当たりくじが入っているくじをあなたと友達の２名が引くとき、あなたは先に引きますか。それとも友達の次に引きますか。■先に引く人　○人（理由）・当たりが２本確実に入っているから・・・■後に引く人　□人（理由）・先にはずれがでたら、当たる確率が大きくなるから・・・引く順番によって当たりやすさに違いがあるか。違いはない○人　　違いはある□人・実際にやってみる→時間がかかる・確率を使ったら検証できそうだ！ |